

平成 23 年  
9 月 11 日 執行  
一 関 選 挙 区

# 岩手県議会議員選挙選挙公報

岩手県選挙  
管理委員会

地域の将来を担う世代だから、自らの責任として挑戦します。

- 私の努力課題
- 「希望郷いわて」の実現に積極的に参画します。
    - ・放射性物質対策
    - ・被災者支援・くらしの再建
  - 自動車産業への参入と事業誘致
  - 特徴ある農林業の育成と6次産業化
  - 安定雇用の確保と人口流出を抑制
  - 地域資源の魅力を高めた誘客
  - 医師の確保とかかりつけ医体制の推進
  - 高齢者、障がい者にやさしいまちづくりの推進
  - 集落活動や相互扶助活動への支援
- 佐々木ともかずプロフィール
- 昭和52年東山町生まれ 34歳  
東山中一盛岡一高一法政大学法学部卒  
民間会社勤務を経て  
(有)げいび観光センターグループ企画営業課長

若い力！  
明日への力！！



(34歳)

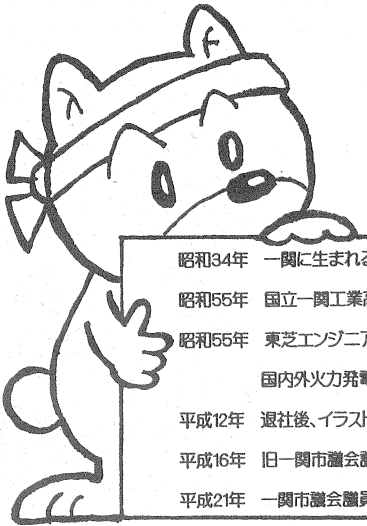


民主党公認

佐々木ともかず



民主党



昭和34年 一関に生まれる (51歳)  
昭和55年 国立一関工業高等専門学校卒業  
昭和55年 東芝エンジニアリング入社  
国内外火力発電所の建設等に從事  
平成12年 退社後、イラストレータとして新聞各社に連載  
平成16年 旧一関市議会議員(1期)  
平成21年 一関市議会議員(平成23年2月まで務める)

全力投球します

力の限り

地域への力をするために

- 一. 大震災の復興・地域の再生のために
- 二. 地域雇用の確保のために
- 三. 地域医療の充実のために
- 四. 地域主権改革を推進するために
- 五. 世界文化遺産に即した

『地域の心を ひとつに』

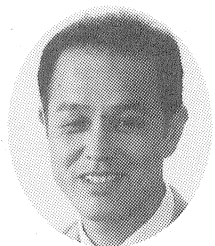
力を合わせて 前へ！



熊谷ひろし

大震災・原発事故  
のもとでの県議選

まともな政治への一步を あなたの一票で



日本共産党・元市議  
高田一郎

大震災・原発事故という国難のなかで、政治と政党のあり方が根本から問われています。それなのに、被災者そこのけで政争にあけくれる、民主、自民は、あまりにもひどすぎます。

いま、「選択肢に入れてこなかったが、日本共産党の主張に、真実があるのでは」という声が、党派をこえて広がっています。「やらせメール」問題では、日本共産党の暴露が世論を動かし、原発の再稼働を許していません。

岩手から声をあげれば、政治を動かす力になります。今度こそ、高田一郎を県議会に送り出してください。

くらしの願いにこたえる

両誓初の日日本共産党の県議を

声「毎日不安で  
過ごしているママ  
がたくさんいます」

放射能対策

- 子どもが近づく場所での調査・除染を
- すべての子どもの健康調査を

声「放射能で、農  
家は死刑台にのっ  
ているようなものだ」

農業

- 東京電力は全面賠償を
- 県は、ただちに農家への財政支援を
- TPP参加撤回を

声「県立病院  
がなくなると  
心配」

医療

- 大東病院など県立病院の充実を
- 国保税の引き下げを
- 特養ホーム増設を
- 花泉診療所の医師確保を

●プロフィール●1959年、一関市滝沢生まれ◎一関二高土木科卒◎一関市議に連続6期当選◎家族は、妻、二男一女、母。

「原発ゼロ」を全国に発信しよう

平成 23 年  
9月11日執行  
一関選挙区

# 岩手県議会議員選挙選挙公報

岩手県選挙  
管理委員会

## 情熱と挑戦で県政に挑みます！

- (1)市議会議員 3期の経験 地域や行政がわかる “神崎”です  
幾多の行政との交渉経験、地域に足を運び 住民の声を聞いてきました
- (2)来年3月まで 介護ベッド400床・雇用200人 “神崎”です  
老人ホームに入れなく困っています。ベッドを増し、その雇用200人をつくります  
“出来ない公約”ではなく “必ずやる”約束をします
- (3)日本の政治の荒廃を地方の議員から立て直す “神崎”です  
今の政治の混乱により、政治、政治家に対し、無力感、あきらめの気持ちがあります  
今こそ、政治家がリーダーシップを示し、ビジョンを示し、政治の信頼回復に努めます

自民党公認として、今の行き詰りの日本の政治を変えます



神崎  
ひろゆき

自民党公認



おおくぼ  
ゆか

はじめまして。

ふるさと岩手のために力一杯がんばります!!

このたびの東日本大震災で被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

先の大震災・大津波は原発事故をはらみ、未曾有の苦痛と困難を東日本各地にもたらしました。

私、おおくぼゆかは、被災者の皆様の声に応えすにはいられず、ふるさとを取り戻すため立ち上がる決意をしました。スポーツで鍛えた気力とパワーで力一杯頑張ります。

みなさん、おおくぼゆかを、ぜひ応援してください。笑顔あふれる岩手を力を合わせて取り戻しましょう!

### おおくぼゆかの3つの約束

「ふるさとへの想いをかたちにします」

沿岸部に活気が戻らなければ岩手の復活はありません。何よりも生活再建のための産業の再生と雇用の確保にスピード感を以て取り組んでいきます。

「活力ある美しい岩手をつくります」

優れた自然景観と長い歴史と時間に培われてきた文化的資源があります。世界遺産を通じた様々な施策の展開が期待されます。世界の国々から人々が交流する、ゆたかなふるさとづくりをすすめます。

「安心して暮らせるまちをつくります」

安心して子どもを産み育てられる優しいまちづくりを進めます。世界一安全なまち・岩手を復活させます。

### 「おおくぼゆか略歴」

1973年生まれ、一関市立山目小学校、山目中学校を卒業する。プロのゴルフ選手を目指し単身で東京都下の堀越学園高校に入學。高校生活の最後は地元で過ごしたいとの想いから一関商工高等学校(現在の一関学院高校)にて卒業。9歳からはじめたゴルフは中学校の全国大会をはじめ数多くの大会で優勝する。21歳でプロデビュー、日本女子プロゴルフ協会に所属する傍ら、家業を手伝う二児の母親。

◆文部大臣第9回全日本高校ゴルフ選手権&中学生全国大会優勝  
◆東北シニア・レディース、グランドシニア大会優勝

## 投票用紙は2種類あります。

知事選挙は **白色** の投票用紙

(候補者一人の氏名の上の欄に ☐ をはつきり書きましょう。)

県議会議員選挙は **うすい黄色** の投票用紙

(候補者一人の  氏名をはつきり書きましょう。)



平成 23 年  
9 月 11 日 執行  
一 関 選 挙 区

岩手県議会議員選挙選挙公報

岩手県選挙  
管理委員会

プロフィール

■生年月日 1970 年（昭和 45 年）2 月 25 日  
■趣味 合唱、スポーツ観戦、読書  
■経歴 昭和 63 年 3 月 一関高等学校卒業／平成 4 年 3 月 明治大学政治経済学部政治学科卒業／平成 4 年 4 月 1 B C 岩手放送に入社／平成 18 年 11 月 県議選出馬のため 1 B C 岩手放送退社／平成 19 年 4 月 県議選選挙区より立候補、初当選を果たす

まことの「復興マニフェスト」

① 放射性物質からの安全対策の推進  
観測体制、モニタリング調査の拡充と情報共有の推進  
汚染土壌等、いわゆる「ホットスポット」の除染の徹底。  
② 原発による被害補償の確保で速やかな実施  
汚染された稲わらを給餌した牛については全頭買い上げの実施等による補償。それ以外の牛については検査の徹底と、風評被害による下落について既存制度の拡充による補償の実施。  
③ 農産物検査体制の確立と風評被害防止  
農産品検査体制のための早急な整備促進。  
証明書発行による風評被害対策の実施。  
消費者に対する適時適切な情報発信の実施。  
④ 東日本大震災・内陸被害からの復旧復興  
被害の大きい内陸の住家被害対策の拡充や、私道宅地復旧対策の推進。  
農地復旧負担など国庫負担の向上。  
⑤ 再生可能エネルギーの積極導入による電力自給率の向上  
電力自給率が 4 分の 1 にとどまる岩手の実情に正面から向き合い、岩手県として再生可能エネルギーを中心として、電源開発とそのための環境整備の促進。  
⑥ 沿岸部を支えるための産業振興と社会基盤の整備  
沿岸部からの避難者や職を失った人の県外流出防止のため、内陸の産業振興活性化と雇用の確保対策の実施。沿岸部と内陸を結び、道路網などの整備促進。

まことの基本

地域主義＋現場主義＋未来主義＝

地域主権

声をカタチに、想いを政策に。  
ふるさとの希望のために

東日本大震災津波は、私たちの大切な人々や財産、そして慣れ親しんだ風景を奪ってしまいました。失ったものは、どれもかけがえのないもの。内陸の私たちも、大きな被害の前に立ち尽くしています。そしていま、放射性物質による影響が私たちの襲いかかっています。それはまさに「ふるさとの危機」にほかなりません。震災と放射能という、だれもが体験をしたことがない 2 つの危機から脱出しなければ、この地で安心して暮らし続けることはできません。  
「声をカタチに、想いを政策に」政治の役割は、必要なことを実現していくことです。ふるさとを守るため、みなさんと心ひとつに危機に立ち向かいます。なくてはならない希望のために。

民主党公認

岩渕まこと

4 期目も守ります。  
政治活動 4 つの約束。

県民党の立場を貫く

報告会を年に一度必ず行う

提案型の議会活動を行う

地域医療を守る民間活動支援など  
地域活動に力を入れる

今こそ、一歩進んだ岩手県へ

農業 命の源としての一次産業を再生する  
エネルギー 自然を活かした地産地消のモデルをつくる  
放射能 対策強化で放射能被害を最小限に抑える  
医療・介護 地域の「絆」で繋ぐ医療と介護を応援する  
観光 岩手の誇りを観光資源として再生する  
教育 「学ぶ力」と「生きる力」を育む  
そして、国際リニアコライダー（ILC）誘致で  
国際科学研究都市形成を目指す

地域政党いわて

飯沢ただし

49 歳

【経歴】 一関一高・成蹊大学卒業、岩手県議会議員 3 期、「地域政党いわて」代表

岩手県議会議員の選挙区は次のとおりです。自分の選挙区を確認しましょう。

選挙区名	区 域
盛岡	盛岡市
宮古・下閉伊	宮古市、山田町、岩泉町 田野畑村、普代村
大船渡	大船渡市
花巻	花巻市
北上	北上市、西和賀町
久慈	久慈市、野田村
遠野	遠野市
一関	一関市、平泉町、藤沢町

選挙区名	区 域
陸前高田	陸前高田市、住田町
釜石	釜石市、大槌町
二戸	二戸市、一戸町
八幡平	八幡平市、葛巻町、岩手町
奥州	奥州市、金ヶ崎町
岩手	雫石町、滝沢村
紫波	紫波町、矢巾町
九戸	軽米町、九戸村、洋野町

自分の選挙区以外の候補者名を記載した投票は無効となりますので注意してください。

(この選挙公報は、候補者から提出された掲載文をそのまま写真製版により印刷したものです。)(この選挙公報の掲載順序は、くじで決定しています。)

平成 23 年  
9 月 11 日 執行  
一 関 選 挙 区

## 岩手県議会議員選挙選挙公報

岩手県選挙  
管理委員会

# 9 月 11 日 (日) は、投票日です。

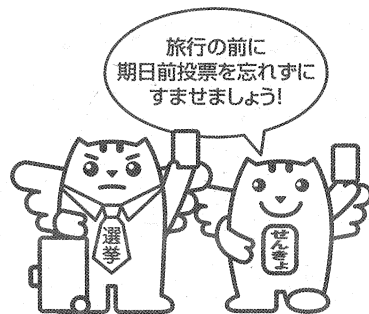
投票時間は、**午前 7 時**から**午後 8 時**までです。

ただし、一部の投票所ではこの時間と異なる場合がありますので、入場券・市町村広報などで確認されるか又は市町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。

### ～9 月 11 日 (日) に予定のある方へ～

#### 期日前投票制度を活用しましょう!

- 次のような方は、期日前投票ができます。
  - ・ 投票日に、お仕事や冠婚葬祭などの予定のある方
  - ・ レジャーやお買い物などの私用で、投票日に投票区内にいない方
- 期日前投票は、投票日の前日 9 月 10 日 (土) までできます。
- 期日前投票は、名簿登録地の市町村の役場等で行うことができます。  
(期日前投票ができる場所については、市町村の選挙管理委員会にお確かめください。)
- 期日前投票ができる時間は、午前 8 時 30 分から午後 8 時までです。  
(ただし、一部の期日前投票所では、この時間と異なる場合がありますので、市町村の選挙管理委員会にお確かめください。)
- 期日前投票所へ行き、宣誓書に記入すれば、投票できます。ハンコは必要ありません。



### ～最近、県内で引越しをされた方へ～

投票しようとする方が、平成 23 年 6 月 2 日以降に岩手県内の市町村間で住所を異動した場合、投票の方法が通常と異なることがありますので、ご注意ください。

- **該当する方**  
平成 23 年 6 月 2 日以降に県内の市町村間で 1 回だけ住所を異動された方
- **投票方法** (次の 3 つのいずれかの方法となります。)

- ① 前の住所地で投票 (いつ? → 投票日当日。どこで? → 前の住所地の投票所で)
- ② 前の住所地で期日前投票 (いつ? → 投票日の前日まで。どこで? → 前の住所地の期日前投票所で)
- ③ 今の住所地で投票 (いつ? → 投票日の前日まで。どこで? → 今の住所地の不在者投票所で)

- 投票の際には、前の住所地又は今の住所地の市町村の役場等で発行する「**引き続き同一県内に住所を有する旨の証明書**」(無料)が必要ですので、早めに交付を受けてください。

※ 詳しくは、最寄りの市町村選挙管理委員会にお問い合わせください。